おおがわら
議会だより

第174号
令和7年2月1日

QRコードから議会の情報をご覧ください
大河原町議会

希望高く舞い上がる
令和7年1月14日
（小規模保育施設ふくふく）

議会報告会……②③
議案審議（12月会議）……④
町政への提言……⑤
委員会活動……⑲
町民の声……⑳

発行／宮城県大河原町議会　編集／議会広報常任委員会

議会報告会

各会場で様々なご要望、ご意見をいただきました。役場に回答を求める ご要望を一部掲載いたします。

昨年の10月22日㈫、23日㈬、24日㈭の3日間、合計12会場にて議会報告会を開催いたしました。
議会や役場に対しての要望、意見が多く寄せられました。一部をご紹介させていただきます。

1日目	2日目	3日目
●1班 幸中島集会所	●1班 上川原集会所	●1班 東桜集会所
●2班 住吉町研修交流センター	●2班 金ケ瀬東集会所	●2班 西桜集会所
●3班 上谷集会所	●3班 金ケ瀬公民館	●3班 新田町生活センター
●4班 中央公民館	●4班 西原集会所	●4班 新寺生活センター

町民生活課

ごみ集積所への要望

ごみ集積所は各行政区で管理しているが、地区外の人が捨てていて分別がされていない。
その抑止のためゴミ集積所周辺に防犯カメラの設置を望む。

ゴミ出しのマナー改善を

福祉課

町営の老人ホーム施設整備の要望

町内に有料の老人ホームは多くできている。しかし年金（国民年金）しか貰っていない場合は入所が困難である。低額で入れるよう町での老人ホーム整備を望む。

いつまでもこの町で暮らしたい

地域整備課

大河原駅東口交差点横断歩道設置の要望

小学生が通学で大河原跨線橋を使っている。
駅東口交差点（明治安田生命前）が通学路となっているが、車が多く危ない場所である。横断歩道の設置を求める。

安全な通学路の整備を

河川敷草刈りについての要望

- 草刈りの時期を花粉飛散前にすれば、花粉が楽になるのではないか。草刈りの時期の検討を求める。
- 柴田町との境に差が出ている。草刈りをやりたいことろには無人草刈り機を貸出して欲しい。

側溝有蓋化の要望

西桜公園周辺では落ち葉が側溝に入り水が溢れる。整備計画はどうなっているのか。障がい者が側溝に落下する事故があった。側溝の有蓋化を求める。

上下水道課

雨水排水への要望

- 雨水の排水能力が不足している。避難路が冠水する。町では把握しているのか。
- 雨水溝の能力は現在の雨量に対して無力。更なる検討を望む。

商工観光課

イベント周知の要望

他町では役場職員がPR戦隊という形で、コスプレをしたりテレビで PR活動をしている。
大河原町では広報誌やおしらせばん、HPしかない。このような広報活動をしてはどうか。

※要望に対する回答は、議会ホームページに掲載しております。

12月会議

議決責任の明確化

令和6年第4回 大河原町議会定例会12月会議 採決状況一覧

議案	結果（賛成：反対）	議員別表決結果一覧														
		遠藤 勇耶	佐藤 暁史	中村 淳	大沼 常次	高橋 豊	佐久間 克明	須藤 慎	髙橋 芳男	丸山 勝利	山崎 剛	万波 孝子	秋山 昇	佐藤 巖	大沼 忠弘	岡崎 隆
同意第3号	同意（10:3）	無記名投票による														議
同意第4号	同意（13:1）	無記名投票による														議
同意第5号	同意（12:2）	無記名投票による														議
報告第11号	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	議
議案第61号～第70号	可決（14:0）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
請願第1号	委員会付託															

《表決の区分》 ○：賛成 ×：反対 議：議長なので表決に加わらず

令和6年第4回 大河原町議会定例会12月会議 提出議案概要

15件（同意3件、報告1件、議案10件、請願1件）

同意第3号 監査委員の選任について

地方自治法第196条第1項の規定により、佐久間克明議員を監査委員に選任することに同意

同意第4号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

地方税法第423条第3項の規定により、佐藤好彦氏を固定資産評価審査委員会委員に選任することに同意

同意第5号 教育委員会委員の任命について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、林恵美子氏を教育委員会委員に任命することに同意

報告第11号 専決処分の報告について（令和6年度大河原町一般会計補正予算（第6号））

衆議院解散による衆議院議員選挙費として 1,483万1千円を追加し、選挙費を4,698万3千円に増額

議案第61号 損害賠償の額を定めることについて

水道開栓作業により発生した漏水による建物の修繕工事費として2,234万3,640円を賠償する。内、保険適用1,495万801円

議案第62号 パークゴルフ場に係る指定管理者の指定について

令和7年4月1日から令和9年3月31日まで株式会社フクシ・エンタープライズを指定する

議案第63号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

刑法の字句 禁錮が拘禁刑と変わった事により、関係する5条例の字句の改正をおこなう

議案第64号 仙南地域広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び仙南地域広域行政事務組合規約の変更について

組合の共同処理する事務に森林環境税に係る滞納整理に関することを追加変更する

議案第65号 令和6年度大河原町一般会計補正予算（第7号）

7億840万8千円を追加し、総額118億2,939万7千円とする

議案第66号 令和6年度大河原町介護保険特別会計補正予算（第2号）

1億917万1千円を追加し、総額16億5,024万7千円とする

議案第67号 令和6年度大河原町仙南夜間初期急患センター事業特別会計補正予算（第3号）

運営経費負担金22万8千円を減額し、同額を一般会計繰入金とする

議案第68号 令和6年度大河原町水道事業会計補正予算（第2号）

議案第61号の漏水事故損害賠償金を補償金として支出し、水道賠償責任保険保険金をその他雑収益として繰り入れる

議案第69号 工事請負契約の変更契約の締結について（金ケ瀬小学校校舎・屋内運動場外壁ほか改修工事）

金ケ瀬小学校改修工事で、補修等の変更により契約金額675万4千円を増額し、1億7,989万4千円とする

議案第70号 令和6年度大河原町一般会計補正予算（第8号）

上谷団地 地上デジタル放送無線共聴施設更新工事費として財政調整基金積立金を1千万円減額し支出する

請願第1号 「大河原町郷土資料博物館」（仮称）建設に関する請願書

文教厚生常任委員会へ付託

一般質問 町政への提言Q&A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すものです。今回は12人の議員が行いました。

髙橋 芳男 ……P⑥
- 感震ブレーカーの普及を
- フューチャー・デザインの積極的な活用について
- サーキュラーエコノミーについて

万波 孝子 ……P⑦
- 物価高騰支援策について
- 高齢者等のゴミ出し支援について
- ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム事業の拡充について

大沼 忠弘 ……P⑧
- 検討、協議のその後を追跡
- 施設利用利便性向上について

中村 淳 ……P⑨
- レンタサイクル導入案のその後

※ 賑わい交流拠点施設からの景観を地理教育に

佐藤 暁史 ……P⑩
- スポーツへの取り組みなどについて
- 町内一斉清掃について

高橋 豊 ……P⑪
- 医療用ウィッグ助成について
- 地域公共交通について

丸山 勝利 ……P⑫
- まちづくりについて

遠藤 勇耶 ……P⑬
- 地域担当職員制度の再構築と住民主体のまちづくりの推進について

佐久間 克明 ……P⑭
- 保育事業の今後について

須藤 慎 ……P⑮
- 町長選挙公約と今後のまちづくりについて

大沼 常次 ……P⑯

※ スポーツ推進計画の策定の進捗について
- 学校給食費の政策変更の経緯と今後の事業実施の取り組みについて

山崎 剛 ……P⑰
- 大河原商業高校閉校に伴う今後について

※は、誌面の都合により掲載できなかった質問。
内容は、大河原町議会ホームページ内の「インターネット議会配信」で視聴できます。
（https://ogawara-town.stream.jfit.co.jp/）
各一般質問の録画は、QRコードからご覧いただけます。

一般質問

感震ブレーカー

あっせん補助対応を

設置の普及啓発に努める

髙橋 芳男

髙橋 震災時に電気復旧の際、電化製品が出火の原因になる事例が多発していた。不燃化住宅への建て替えや耐震性の高い住宅への補強などは、当事者の負担が数百万から数千万円になる。コンセントに差し込むだけで対応できる感震ブレーカーのあっせん補助対応をするべきだと思うが、どうか。

町長 設置が義務化された住宅用火災警報器と比較すると認知度が低いものと捉えている。地震災害の備えとしての自助の取り組みで設置の普及啓発に努めるとともに認知度向上へ更なる取り組みが必要と考えている。

フューチャー・デザインの導入を

髙橋 フューチャー・デザインとは、まだ生まれていない将来の人々を利害関係者と捉え、将来と現在の双方の視点を持って解決方法を考える手法である。少子高齢化や人口減少が進む私たちの地域において、フューチャー・デザインを取り入れ、現在の延長ではなく、抜本的独創的な政策の展開が必要だと思うが、どうか。

町長 「長期総合計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等各計画において政策を展開しているが、更なる政策形成に努めていく。

サーキュラーエコノミーの推進を

髙橋 サーキュラーエコノミーは「資源の循環を図り、廃棄物を出さない」経済モデルである。日本の「循環型社会形成推進基本法」は、廃棄物が出る前提に対し、サーキュラーエコノミーはそもそも廃棄物を出さない前提政策である。わが町もサーキュラーエコノミーの助成やあっせん推進を検討すべきだと思うが、どうか。

町長 本町においては、年に一回、一般家庭で不要になった衣類を回収し、業者を通じてカンボジア、マレーシア、フィリピン等、東南アジアに輸出するリユースを展開しているため、サーキュラーエコノミーへの助成等の計画はないが、資源の有効活用や持続可能な社会形成に向け重要施策と捉えている。

備えよう感電ブレーカー

物価高騰対策

暮らし・営業を守る支援策を

国・県の動向みて対応する

万波 孝子

値上げラッシュ、いつまで続くのやら

政府の経済対策では住民税非課税世帯に3万円を支給。その内、子育て世帯には子ども1人当たり2万円を上乗せする。物価高騰の影響は課税世帯も同じであり、町独自支援の声が上がっている。ふるさと寄附金増により財政調整基金は約34億円。これを活用すれば支援策は十分できる。

万波 国の支給対象外となる課税世帯で所得200万円以下の世帯は24・3%いると言うが、こうした低所得世帯にも支援を。

町長 6年度所得税・住民税の定額減税をしている。成果を見定めながら検討する。

万波 国では低所得、ひとり親世帯はじめ水道料金の減免、灯油支援等。事業者支援も掲げているが、町独自支援については財政基金を活用し要望が強い商品券の発行や障がい者・高齢者世帯にも手厚い支援を求める。

町長 これ迄にも的確に支援をやってきたが、国・県の動向をみながら把握する。

ひとり暮らし高齢者等緊急通報システムはまさに命綱

万波 ひとり暮らし高齢者の孤独死が増え社会問題になっている。急病や突発的な事故で緊急に救助を求めたい時に通報を行う緊急通報システムの利用基準と設置費用について改めて伺う。

町長 一人暮らしの高齢者と重度身体障害者が対象。緊急通報協力員の登録等条件が整えば利用は可能。本人の利用負担はない。

万波 合鍵を近所の方に預けて命拾いした方がいる。孤独死未然防止策の周知を。

町長 広報等で情報発信に力を入れるが、地域内のつながりづくりが最重要と考える。

高齢者等のゴミ出し支援の取り組み強化を

万波 高齢者等のゴミ出し支援で課題とは。

町長 行政だけではなく地域の協力を得ていくことが課題。

万波 ゴミ出し等について区長会で情報共有する場を設けてほしい。

町民生活課長 環境衛生組合に提案してみたい。

万波 国は高齢者等世帯に対するゴミ出し支援事業に要する経費は特別交付税措置をしている。本町に見合った取り組みを。

町長 現在は地域住民同士の地域力による支援体制を構築していく段階だが、本町の事業形態及び対象条件等詳細を確認したい。

一般質問

施設利便性

休館日をなくす、減らす考えは

今のところない

大沼 忠弘

大沼 公民館等、月曜日に一斉に休館日だと会議で使用したい時など代替施設がない、休館日を施設ごとずらすなどして対応できないか。

生涯学習課長 要望が増えてきた場合、検討していくことも必要。

検討、協議のその後を追跡

大沼 仙南夜間初期急患センターへの誘導案内看板設置は考えていないが、今後時期を見て、また検討はしていきたいとの事だったがその後は。

町長 現在、新たな看板の設置は考えていない。

大沼 白石川に堆積した土砂の浚渫の要望について、今後も機会あるごとに要望していくとの事だったがその後は。

町長 県では阻害率が2割以上の箇所を優先的に行っている。白石川該当箇所は経過観察としている。今後も機会を捉えて要望を行っていく。

大沼 大河原オリジナルギフトセット企画、販売について、どのような商品選定や市場ニーズの調査、検証、働きかけを行ったのか。

町長 観光物産協会で「梅シロップ」「ゆずポン酢しょうゆ」「大河原味噌」「ゆずとうがらし」などが商品化されている。町でもこれらセットの販売を働きかけ、ふるさと納税の返礼品としても検討。関係機関との連携を図り、商品の開発・販売・検証に取り組んでいく。

大沼 公益通報が生じた場合には、ガイドラインにおいて、内部規程を作成するとされていることから、その必要性について十分検討を行っていくとのことだった。検討の結果は。

町長 大河原町公益通報に関する要綱を制定し、12月1日から施行している。

大沼 公園スポンサー制度を導入について。これまで検討したことはないが、今後幅広く制度について研究していきたいとのこと。賑わい交流拠点整備事業も進む今、研究の進捗は。

町長 引き続き公園の維持管理について研究をしていく。

大沼 橋梁ライトアップについて、実現可能か調査とのことだったが結果は。

町長 実証実験を行い好評を得たが、課題もあり実施には改善の必要あることを結果として把握。

大沼 大河原地方卸売市場にリサイクルステーション増設を検討してみたいと答弁を受けたが、その後は。

町長 設置した場合の管理に課題があることから、現在は考えていない。

同じ休館日だと代替利用施設がない

貸自転車導入

提案の進捗は

地域間連携事業を模索

中村 淳

大河原駅を拠点としたレンタサイクルの導入について質問してから3年、賑わい交流拠点施設のモデルプランも公表された。この提言を前向きに検討しているものと捉え、進捗について以下質問する。

中村 既存の電動アシスト自転車によるレンタサイクルでの検討をお願いしたが、費用面、運営面での問題点は、見えてきているか。

広域での実現が理想

町長 賑わい交流施設に管理室を設け運営を検討。事業運営は、その効率性から精通した業者への委託を検討。

中村 みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議の中で進めていると聞いているが、具体的になったことは。

町長 地域の観光資源をサイクリングで繋ぎ、誘客や地域の活性化を目的に取り組んでいる。自治体間で認識や活用に開きがあり統一した事業展開には至っていないが、サイクリングの適地として認知されてきたので、自転車を活用した連携事業を模索していきたい。

中村 仙台市等で導入されているバイクシェアサービスの導入を検討すべきと思う。地域間連携が重要だが、通院等に使える新しい交通インフラとして考えられると思うが如何か。

町長 定期的な通院の場合、現行交通インフラでもイレギュラーは少なく、既存のものでも特に問題としていない。一気に広域、町内全部とはいかないまでもあらゆる視点から検討する。

中村 当該システムは、一拠点一台から導入検討が可能で期間を区切り社会実験も可能。二酸化炭素排出抑制、健康増進にも繋がるが如何か。

町長 導入に当たっては、付随する様々な業務が発生するためシステムを導入するのは間違い無い。実証実験が可能であれば、是非行いスタートしたい。

中村 町内を自転車で隅々まで回遊してもらうことで、新たな観光ルート・観光スポットの掘り起こしになる。このシステムは、付随する業務の委託も担っているので、調査していただきたい。

町長 観光スポットに繋がるものを逃すのはもったいないので、提案はいい話だと受け止める。業者選定は専権事項では無いので、回答をひかえる。

一般質問

スポーツ

町レクのやりかたを考えて

ありかた自体を見直す

佐藤 暁史

佐藤 町レクに中学生が参加する場合に部活を休むと欠席扱いになるのか。

町長 中学生が休日に行うのは「休日地域クラブ活動」。休んでも不利益はない。

佐藤 車いすバスケに力を入れる考えはあるか。

町長 パラスポーツやニュースポーツ等を推進していく。

佐藤 暑い時期は避けてほしいとの声がある。やり方自体を考える時期ではないか。

町長 来年度どうするか、できるだけ早く結論を出す。

佐藤 世代、身体的特徴、住んでいる所、性別に関わらず参加しやすいのが「eスポーツ」の魅力。町としてどのように捉えているか。

町長 現在商業ベースで行われるケースが多い。ハードルが高いと感じる。

佐藤 今後、スケボー、ブレイキンなどアーバンスポーツ全般に力を入れるのか。

町長 体育協会への加盟、スポ少として結成された場合は支援を行う。

佐藤 ダンスチームによっては地域の子ども達の受け皿になっている。賑わい交流拠点施設に練習場所を整備する考えはないか。

スポまち推進課長 新たに整備する考えは無い。

佐藤 スポ少の運営事業補助金を増やせないか。無理なら施設利用料を安くしてほしい。予算拡充の検討はあったのか。

スポまち推進課長 スポ少等への補助金を増やす要求をしている。補助金を増やす要求をしている。少し上乗せして活動しやすい環境にしたい。

佐藤 体協、スポ少に登録していない団体に施設使用料の減免は考えられないか。

町長 部活動の地域移行の受け皿となる団体は減免対象。クラブチーム等の減免は時期尚早。

町内一斉清掃

佐藤 6時からと言うのはいつ決まったのか。

町長 明確な記録はない。

佐藤 連休は家族で出かけたい。連休中を避け翌月にできないか。

町長 他の行事と重ならないよう調整して決定している。

佐藤 6時開始だと土曜の夜の行動も制限される。清掃時間について再考できないか。

町長 当日のゴミ収集のため8時頃まで終了の変更は行政区の判断で変更可能。

佐藤 定年はないのか。年齢制限を設けないのか。

町長 年齢制限を設ける予定はない。健康や体調に配慮し協力を願う。

楽しい町レク。でも熱中症に気を付けて

地域公共交通

先進的な公共交通導入を

現在のシステムを維持

高橋 豊

本町の地域公共交通としてデマンド型乗り合いタクシー「さくらっきー号」が平成24年7月より導入されてから12年経過した。これまでの問題点を総括し今後の展望について質問する。

高橋 「さくらっきー号」の運行の中で見えてきた問題点とその対応、利用者からの要望について伺う。

境町では経済効果30億円ある自動運転バス

町長 問題点はデマンドタクシーの運営経費が多額になる。利用者からの要望は、休日・祝日の運行。午後5時以降の運行。満席で予約できない、大きな荷物の積込み等、要望が寄せられている。

高橋 運転免許返納者に対してデマンドタクシー利用券またはタクシー乗車券を交付しているが10人に1人しかデマンドタクシーを希望していない。もっと利用促進すべきではないか。

町長 利用方法を説明する。令和7年度からデマンドタクシーとタクシー乗車券をセットにした支援を追加。今後、デマンドタクシー乗車券の増額も検討する。

高橋 今年、茨城県境町で自動運転バスを視察した。バス利用者は高齢者の方、子育て中の親子等に利用されており、料金も無料である。他にも地域公共交通は全国的に先進地事例も出てきている。本町における地域公共交通の今後の展望は。

町長 地域公共交通協議会で協議された結果、デマンドタクシーを選定した経緯があり、現在のシステムを維持していく。

医療用ウイッグ助成拡充を

本町では医療用ウイッグや人工乳房の購入費用として大河原町がん患者補正具購入費助成金が交付されているが、現在がん患者以外の方は助成を受けられない。

この助成の目的は傷病やその治療のために外見の変化があった方等に対し、心理的・経済的負担を軽減するとともに、社会生活を支援するためである。

高橋 他自治体ではがん治療の他の疾病に対しても助成しているところもある。本町も助成すべきでは。

町長 県の事業費補助金を活用した事業である。県に確認しながら社会情勢を鑑み検討する。

一般質問

まちづくり

公約、給食費無償化いつ

新年度から実施

丸山 勝利

少子化の中、人口減少は避けられない。政府も「異次元の少子化対策」を打ち出しているが、政府、国会が渾沌としており実現性、実効性が見えない状況にある。

本町も第6次長期総合計画で今年度から令和11年度までの後期基本計画で人口減少の抑制と超高齢化社会への対応とあるように、Well-being（ウェルビーイング）なまちづくりには少子化対策、高齢化対策が不可欠となっている。

丸山 町長の今後の重点施策と新たな時代に向けた公約として、少子化対策としての学校給食費の無償化があるが実施時期は。

町長 学校給食費の無償化については大きな関心を呼んできた課題。財源確保についても長期的に目途が立つと考え、新年度から実施する。

丸山 周産期母子医療の充実と分娩復活（みやぎ県南中核病院）について実現性と実施時期は。

町長 「みやぎ県南中核病院経営強化プラン」に基づき、分娩復活に向けて、周産期母子医療の充実を図るため、小児周産期センターを院内に開設した。分娩復活には複数名の産科常勤医の従事が必要である。大学病院などと連携し、令和9年度まで復活できるよう取り組む。

丸山 広域Wi-Fiネットワーク（全町無料）DX化の実現の実効性と実施時期は。

町長 観光事業への活用による交流人口の増加、健康増進への取組、災害時の通信環境の確保などへ有効と考える。施設整備や維持の財源の確保、施設の利活用と運営など課題がある。整理を行い、早い時期に概要など示す。

丸山 白石川右岸の賑わい交流施設整備の推進は。

町長 官民連携による手法により、令和10年4月の賑わい交流拠点施設オープンとその後の維持管理運営を目指して事業の推進を図る。

丸山 道路側溝の有蓋化について早急に進めるべきだ。また、現場打ちした道路側溝は深くて危険で、既製品の蓋など掛けられない。どのように整備するのか。

地域整備課長 既製品の側溝に入替を行い整備する。多額の費用と時間がかかる。先ずは学校周辺の通学路から有蓋化を進めたい。

今後の重点施策と新たな時代に向けた公約

❶人口減少の抑制と少子高齢社会への対応
- 少子化対策としての学校給食の無償化
- 周産期母子医療の充実と分娩復活（みやぎ県南中核病院）
- 広域Wi-Fiネットワーク（全町無料）とDX化の実現
- 人と人、人と地域のつながりを大切に地域共生社会の実現

❷町のブランド化とシティプロモーション
- 学校教育のブランド化と学力向上の推進
- 健康寿命の延伸による「元気で長生きなまち」のブランド化
- 子ども家庭センターと相談体制の充実

❸町の象徴、一目千本桜の保護と活用
- 千本桜を千年先へ「一目千本桜プロジェクト」の推進
- 桜の観光活用

❹町の強みと資源を活かす広域連携と官民の連携
- 白石川右岸のにぎわい交流施設整備とリバースポーツの推進

速やかに実現を

協働のまちづくり

地域担当職員制度の再開は

制度を見直し協議する

遠藤 勇耶

町内会（行政区会）は住民にとって最も身近な組織であり、地域課題の解決やまちづくりの基盤となる存在である。しかし、少子高齢化の影響で担い手不足が深刻化する中、住民の自主的な活動には限界があり、町と住民が協力して新たな仕組みを構築する必要がある。

遠藤 地域担当職員制度の再開の見通しは。

地域担当職員制度

4月1日よりスタート

～区会と行政のパイプ役を配置します～

町では、地域が抱えている課題の解決を地域と行政が一緒になって考えていくため、平成２３年４月１日より「地域担当職員制度」を導入します。

これは、町職員を地域と役場のパイプ役として各行政区に配置することによって、町からのさまざまな情報を素早く正確に提供するとともに、地域の課題解決を積極的にお手伝いさせていただき、地域の活性化につなげていこうというものです。

この取り組みを通して「地域と行政の協働のまちづくり」実現を目指していきます。

地域の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

なぜ、この制度が必要なのか？

大河原町をより住みよい町にしていくため、地域住民の皆さんには、ぜひ主体的にまちづくりに参画していただきたいと考えています。

それには、区会の自発的な取り組みをこれまで以上に支援していく必要があります。

そこで、地域と行政の連携をスムーズにするため、町職員を配置し、人的な面からも支援をしていく考えです。

地域担当職員の仕事は？

区会の会議等への参加を通して、地域のかたの相談や要望を区会長より受け、解決のお手伝いをします。具体的には、相談等の内容をただちに関係部署に伝え、回答等を区会に報告したり、問題解決を一緒に考えることになります。

地域に寄り添う制度

町長 本制度は令和２年度から運用を休止しており、現在は住民出前情報交換会や行政懇談会の利用が増えている。この状況を受け、制度は再開せずに引き続き休止しているが、町内に居住する職員には一住民としての活動参加を奨励している。

遠藤 このままだと廃止となるのか。

総務課長 休止しているが、廃止の予定はなく、制度の見直しを図り協議を進める。

遠藤 行政区役員の担い手不足の対応は。

町長 担い手不足をはじめとする課題解決に向け、行政区と協力しながら協議を進めていく。

遠藤 先進事例を参考にした新たな支援策の導入は。

町長 これまでも地域担当職員制度や行政懇談会を活用し、協働のまちづくり事業交付金を交付してきた。令和6年度には支援を拡大し、地域課題の解決に向けた取り組みを強化した。今後も地域共生社会の構築を目指し、更なる支援策を検討したい。

遠藤 後期基本計画で掲げる「住民主体の地域活動が活発なまち」を実現するために、どう取り組むのか。

町長 コロナ禍や国際紛争、自然災害が経済や暮らしに影響を与える中、いつ何が起こるかわからない状況が続いている。このような時代だからこそ、人と人との繋がり、人と地域の繋がり、地域と地域の繋がりを大切にしていく必要がある。「Well-being（ウェルビーイング）」なまちづくりを目標とし、具体的な取り組みを進めていく。その先には、地域コミュニティの再生があると信じている。

一般質問

保育事業

支援や対応を要望すべき

国県に実情を伝え要望する

佐久間克明

小規模保育事業所より要望を受け、町内保育所7施設に伺いそれぞれに話を聴いた。この件は町担当課に相談し、請願書を提出した後に、町独自の支援策を検討いただける旨の回答があった。しかし同時にいくつかの課題が見えたので、民間事業ではあるが公共性の高いものであるため以下質問する。

佐久間 要望のあった、4月から6月にかけて例年定員に満たない状況は本町のみならず全国的に発生している。年度途中で挽回して売上げを確保できる業態ではない。出生数の減や人材確保難が叫ばれる今、支援や対応を国県に強く要望すべき。

町長 独自支援を行っている自治体もあるが、様々な格差が生じることとなり、共通した支援や対応が求められるべきだと考える。国や県へ保育事業所の実情を伝え、支援や対応について要望していく。

佐久間 各事業所には保育補助が勤務している。人柄やキャリアにより優れている方々が多くいる。一定の経験値を積み事業所長の推薦があれば、補助を受ける際に事業所は保育士としてカウントできるようにしてはどうか。監査を行っている県に策定を求めるべき。

町長 宮城県は条例の中で保育所等における職員配置について、特例的な運用を可能とすることと定めている。「朝夕等の園児が少数となる時間帯に、知事が保育士と同等の知識や経験を有すると認める者を、保育士に代えて置くことができること」等がある。知事が認める者とは、保育所等で保育業務に従事した期間が1年以上の者や子育て支援員研修のうち地域型保育コースを修了した者等が該当する。またこの特例を各保育事業所が実施する場合の公定価格の算定にあたり、保育補助の方を保育士に代えて必要な算定を行うことができると定めている。町も施設への周知に努める。

佐久間 認定こども園についてどのように考えているか。

町長 「第3期子ども・子育て支援事業計画」のニーズ調査結果から、前回調査よりニーズは減少している。

佐久間 第3期大河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略の中に「こども誰でも通園制度」を新設とある。こども家庭庁では「こども未来戦略に基づき、新たに創設されることとなった。就労条件問わず月一定時間までの利用可能枠の中で柔軟に利用できる」とある。受け皿の問題もあるが記載されている通りなのか。

子ども家庭課長 その通りで、受け皿の問題等含めて今後内容を詰めていく。

安心して働ける環境づくりを

町長選挙 公約

新たな子育て支援施設を

計画を示したい

須藤　慎

昨年10月に町長選挙が行われ、無投票当選となり齋町長の5期目の町政運営がスタートした。町長選挙で掲げた「公約」、「政策ごとの目指す方向性」について伺う。

須藤 全町無料Wi-Fi、非常に魅力的な取り組みである。実施には数年かかるということか。

町長 数年先ではなく、できるだけ早くと考えている。

須藤 全町無料Wi-Fiの概要と国の補助金活用をどのように想定しているのか。

町長 これが実施されれば全国で初の取組みとなる。町内にWi-Fiのアクセスポイントによる通信網を整備し、情報通信技術を活用したサービスの基盤を提供しようと考えている。現時点では、総務省の地域デジタル基盤活用推進事業補助金（補助率2分の1）を想定している。

須藤 こども家庭センターの更なる充実を考えると新たな施設が是非とも必要と考える。

町長 具体的な施設整備に関わる計画を示したいと考えている。ただ、国の対応が不明確な点がまだまだ多い。補助金の活用ができないでしまったというようなことがないよう確認をしながら対応していきたい。

須藤 Wellbeing（ウェルビーイング）な町づくりも重要な視点である。富山県のような具体的な取り組みも必要と考える。

町長 指摘があったように具体的な切り口をどんどん広げていく。

須藤 更に、スポーツを活用したWellbeing（ウェルビーイング）の町づくりも重要である。先日開催したママさんバレーボールのイベントは大変好評だった。日本バレーボール協会の方と話したが、是非またエントリーしてはどうか。

スポまち推進課長 またチャンスがあったら手を挙げたい。

須藤 給食費の無償化は以前も無償化すべきと質問しているが、令和7年度から実施でよいか。

町長 令和7年度から実施する。

須藤 公約にはないが、南小学校大規模改修についての考えは。

町長 令和7年度から2年間かけて校舎、屋内運動場の工事を予定している。

須藤 同様に、大中は。

町長 令和17年度に屋上防止改修、令和23年度に校舎の外壁改修等を予定している。

須藤 役場庁舎も老朽化している。ローカウンター、外壁工事等の考えは。

町長 役場庁舎の全体的な事務スペースの在り方等、検討を進めたいと考えている。

一時預かりの需要も増えてきている「いきいきプラザ」

一般質問

学校給食費

教員も同様に無償化すべき

現在、考えていない

大沼 常次

大沼 町長はこれまで給食の無償化については「考えていない」と表明していたのに、なぜ、唐突に無償化を選挙公約に挙げたのか。町長選挙のためのものか。この政策変更はいつ頃、どのようなステップを踏んで決定したものか。

町長 自治体格差を生まないためには国の責任で行うという基本的な考え方は変わってはいない。学校給食の無償化は国の方も前向きに検討しており、無償化を求める町民からの署名もあることから、今が声を上げる時期が来たということで、それが選挙の時であり、決して選挙のために持ち出した公約ではない。

大沼 国の政権勢力が不安定化している中で、国の従前の政策の優先順位が変化する可能性がある。学校給食費の無償化を行うにあたり、町の予算の1％程度の経費が必要となり、恒久的な制度とするための財源措置に問題はないのか。

町長 財源確保については、長期的に目途が立っている。

大沼 そもそも、学校給食費を無償にする目的は、子育て世代の負担軽減、ひいては少子化対策の一つであると言われるが、無償化すれば少子化が止まると考えるか。

町長 学校給食の無償化は子育て世代の負担軽減を図るための一つの方策であり、少子化対策の全てではない。

大沼 学校給食費の無償化が実施される場合、隣接協定で町が受け入れている村田町、柴田町に居住する児童生徒の分の給食費の扱いはどうするのか。

町長 先行自治体では、無償化は居住する児童生徒に限定されており、本町においても、そのような方針で考えているので、区域外から通学している児童生徒分の給食費は徴収するようになる。

大沼 学校にとっての給食は「食育」という大きな教育分野の一つであり、大事な教材である。そして、教員には、給食を安全かつ衛生的に秩序を保たせるよう指導しなければならない。つまり、教員は業務として子どもたちと一緒に給食を食べているのであって、一般の人がお昼の時間にめいめい好きな弁当などの昼食を摂るのとは、わけが違う。給食指導という大切な業務を遂行しているにもかかわらず、町は教員も給食を食べているという理由で教員からも給食費を徴収している。教員も無償にすべきと思うが如何か。

教育長 町の学校給食運営審議会での議論から、現在のところ考えていない。

「タダ」は嬉しい。でも、給食まで無償化にすべきか

大河原商業高校

閉校に伴う今後は

用地取得・利用計画はない

山崎 剛

跡地の有効活用を

職業教育拠点として、長年多くの人材を輩出してきた大河原商業高校が2025年3月で閉校する。大河原商業高校は1922年、大河原町立実科高等女学校として創立し、1953年に大河原商業高校に改称し103年にわたって、定時制高校も含め、特色ある教育に取り組んできた。地元に100年以上愛され社会で活躍している卒業者の方々の心情を懐（おも）うと、閉校は残念でならない。学校統合に伴い、来年3月で103年の歴史に幕を降ろす大河原商業高校の歴史と伝統を残す意味でも今後の校舎、体育館、グラウンド等の活用できないか、またどのような方向に向かって行くのかについて伺う。

山崎 大河原商業高校の敷地面積は柴田町との所有はどのようになっているのか。

校舎を学校に通えない不登校の子ども達が一緒に集まって同じ机で勉強できる時間や場所に活用できないか。

本町は体育設備の中で運動できる広場が少ないのが課題である。「少年野球、サッカー、ソフトボール、グラウンドゴルフ等」、跡地利用の考えはあるのか。

大河原商業高校の閉校後は、更地になっても大商の歴史は語り継がれていくと話を聞いた。今後の推移をどのように惟（おも）っているのか。

町長 大河原商業の敷地は、大河原町分が4577㎡、柴田町分が42362㎡、総面積を46939㎡とする宮城県所有の土地となっている。

閉校後の活用につきましては、現在も活用に向けた町単独の用地取得、利用計画はない。

土地の活用、更には校舎、体育館の活用に関して、宮城県からのアプローチがあれば、敷地の大部分を占める柴田町と活用法を検討するが、現時点では提案の不登校対応の居場所づくり及びスポーツ活動の場に関して、回答できる段階にない。

100年を超す期間、多くの人材を輩出されてきた功績もあるが、今後の活用に関しては、宮城県が中心となり調整を図るものと捉えている。

委員会活動

文教厚生常任委員会は「空き家の現状と対策について」、「小規模保育施設の現状について」等について調査し、総務産業常任委員会は「賑わい交流拠点施設盛土造成工事の進捗状況について」を調査した。

文教厚生常任委員会

調査内容① **空き家の現状と対策について**

調査日　令和6年8月27日（火）

調査結果

- 担当課だけで処理できる問題ではなく、全庁挙げて取り組む課題である。
- 納税状況、管理状況が十分把握されていないため、組織体制の拡充が必要である。
- 現状把握、支援体制の強化が重要である。

調査内容② **小規模保育施設の現状について**
みらい子育てネット（母親クラブ）の取り組みについて

調査日　令和6年10月24日（木）

調査結果

【小規模保育施設「ふくふく」について】

- 小規模保育施設への町からの給付金については、施設の経営が安定していないと充実した保育活動ができないため、今後の方策について検討すべき事項である。

【みらい子育てネットについて】

- 上谷児童館を活動拠点としているボランティア団体「七草クラブ」が活動するために必要な備品置き場の確保については、役場で検討すべき事項である。

総務産業常任委員会

調査内容　**賑わい交流拠点施設盛土造成工事の進捗状況について**

調査日　令和6年10月22日（火）

工事内容

1工区（盛土工・掘削・運搬工・撤去工等）
工期：令和6年5月22日～令和7年3月24日
2工区（用水工・擁壁工・盛土工・撤去工等）
工期：令和6年5月21日～令和6年12月20日
3工区（雨水ボックスカルバート・水路工・撤去工）
工期：令和6年8月7日～令和7年2月17日

調査結果

- 進捗率：1工区47・9％・2工区44・0％・3工区31・2％
- 土砂搬入：国からの分（丸森町より搬入）7368立方メートル
  県からの分（蔵王町より搬入）2万9200立方メートル
- 盛土の沈下が収まる期間：90日（沈下量26センチメートル想定）
- 工事が順調に進められているが、安全対策に配慮して進めてほしい。

令和6年度 市区町村議会 総務大臣感謝状表彰

永年の功績により受賞

地方議会議員を35年以上務めた秋山昇議員、万波孝子議員に、総務大臣より感謝状が贈呈されました。

こんな町に住みたいな

大河原金ケ瀬小学校6年
安樂（あんらく）　昌春（まさはる）さん

僕の理想の町は、生き物がたくさんいる町です。僕は生き物が大好きで、興味を持ってもらいたくて、クラスでクイズを出しています。

今、環境汚染や自然の減少で、生き物が暮らす場所が減ってきています。なので、植樹やゴミ拾いなどをすることで、自然の豊かさや地域の生き物が暮らす場所を守ってほしいです。

身近な所で生き物と触れ合うことができ、人々が自然とともに暮らすことができる町になるといいと思います。

大河原金ケ瀬小学校6年
成澤（なりさわ）　和（のどか）さん

私が思う理想の町は、子育てがしやすくて、高齢者や障がい者も住みやすい町です。

そのためには、子育て支援制度を充実させたり、バリアフリーの整備拡大をしたりすることが大切だと思います。そうすることで、誰もが住みやすくて、生きやすい町になります。

私たち子供が大人になっても住み続けたくなるような町になってほしいです。そして、活気と笑顔があふれる大河原町になるといいなと思います。

3月議会のお知らせ

招集日　3月3日(月)・再開日　3月7日(金)

詳細は議会事務局まで ☎53-2800

街かどワンショット

今年、令和7年3月にそれぞれ3学年が卒業して閉校となる大河原商業高等学校と柴田農林高等学校。大河原商業高等学校は大正11年に大河原町立実科高等女学校として創立され、幾多の変遷を経て、昭和48年に現在の大河原商業高等学校に改称されました。柴田農林高等学校は明治41年に柴田郡立蚕業講習所として創立し、平成20年に創立100周年目を迎えた歴史と伝統を持つ農業高校です。大商ギター部は大産ギター部として歩み始めています。両校の伝統と精神を大河原産業高等学校に受け継いで、新たな伝統を作り上げていただきたいと思います。

今回の表紙は

今回は、小規模保育施設ふくふくのお正月遊びに伺いました。年明けから手作りの凧揚げや、昔遊び、節分のお面づくりとみんなで楽しく行っています。

気持ちの良い陽気の中、園児たちは凧ひもを持って上手に高く上げていきます。夢中になり凧同士が絡まったり、友達とぶつかったりと、にぎやかで楽しい思い出になりました。思いっきり遊んだ後の給食は最高においしかったのではないでしょうか。

佐久間克明

編集後記

今年は穏やかな陽気で年明けを迎えたのもつかの間。緊張感が高まった日向灘を震源とする九州地方の地震で一気に現実に戻されたのではないでしょうか。頻発化・大規模化する自然災害に備える習慣の必要性を、東日本大震災から14年目を迎える私たちだからこそ改めて感じる出来事でした。町議会においても今と将来に責任を持ち、様々な課題と向き合うわけですが、当たり前の日々が続くように、日々が更に良いものとなるように取り組んでいく覚悟を改める年になりそうです。

佐久間克明

編集発行責任者
議長　岡崎　隆
議会広報常任委員
委員長　佐藤　暁史
副委員長　中村　淳
委員　高橋　豊
佐久間克明
須藤　慎
丸山　勝利

インタビュー

町民の声

子育てや町に望むことを
お聞きしました。

プロフィール

遠藤（えんどう）　菜穂（なほ）さん（桜町１区）
福島県福島市出身
【家族】夫・子ども１人
３人家族

大河原町に住むことになった経緯

実家は福島県福島市です。仕事の関係で宮城県に住み結婚をきっかけに大河原町に住みました。現在は夫のうなぎ料理店で一緒に働いております。

コンパクトで便利なまち

昔住んでいたところは街から離れていたので車が無いと生活ができないところでした。大河原町は買い物や役場や金融機関、郵便局等、生活に必要なものが近くに集まっていて便利な町です。４号線バイパス沿いにもお店が沢山あって買い物も便利。仙台に行く時でも電車に乗り35分で行けるのも魅力的です。白石川堤の一目千本桜は福島に住んでいた時から知っていました。桜と白石川と蔵王の景観はいつ見ても素晴らしいと思います。大河原駅から歩いて５分でこの景色が見られるのは全国的に見ても珍しいのではないかなと思うので、もっと宣伝してもいいと思います。福島の友達も毎年見に来てくれますがいつも感激して帰ります。花見のシーズンには外国人の方もお店の方にも来ていただいて賑わっております。

駅前が少し寂しい

大河原駅前が４号線バイパスに比べると寂しい感じがします。空き地が多くて駅を利用されている方も車で帰る方も多いと思うので駅前周辺が寂しい感じがします。

また、夜間のタクシーが少なくてお客様が帰られる時もお待ちいただくときがあります。大河原駅前オーガの駐車場も23時までなので24時間使えるようになると良いなと思います。

公園の遊具を増やしてほしい

子供も小さいので公園にはよく行きます。近くの公園の遊具が少ない感じがするので遊具がもっとあれば良いと思います。

また、町内に屋内で遊べるところが無いので雨の日でも遊べる施設が欲しいです。札幌市に遊びに行ったときに「ワーワーズ」というカフェに行きました。室内に子供が遊べる大型の遊具があって、その周りにカフェスペースがあるので、大人は食事を楽しみながら子供たちを見守ることができます。施設の中なので防犯上も安心できます。子供も楽しめて大人も楽しめる施設なので近くにあったら嬉しいです。

子育てしやすい町に

白石川の河川敷施設が整備されているのは、知っていますがどのような施設ができるか分かりません。子供も大人も楽しめて賑わいがある場所にしてほしいと思います。

今後子育てがしやすい町にしてほしいです。

■発 行　大河原町議会　〒989-1295 宮城県柴田郡大河原町字新南19　☎(0224)53-2800　■印 刷　㈱津田印刷